

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小		
58	05	25	26	10	15	地域コミュニティ施策推進事業	
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先
			671700	まちづくり推進部地域振興課		小川・仁	内線64351

事業の概要

事業の概要		・町内会・自治会の役割や活動、地域との関わりについて理解を深め、地域社会への関心度の向上、町内会・自治会の加入促進、担い手の育成、効果的な運営等の活動の充実に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・併せて区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を図る。							
実施期間		事業開始年度 平成20年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費				
地域の課題と現状		・住民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化の中、地域社会への関心は低下し、地域社会の基礎組織となる町内会・自治会においては、役員の高齢化、後継者不足、加入率低下などの課題があります。地域社会への関心を再び高め、地域コミュニティを活性化することが求められている。 ・また、地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	633	198						
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	633	198						

計画 (Plan)

事業の目的	・町内会・自治会の活動や地域社会について、広く周知し、地域活動の関心を高め、地域社会への理解促進、未加入者に対する加入促進、担い手の育成、活動の充実等に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図る。 ・区内の市民活動・まちづくり活動の活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	・町内会・自治会や地域社会の役割や活動について、広く市民に周知し、興味や関心を高めてもらう紹介物の掲出、広報冊子等の配布などの周知 ・市民活動支援ルーム運営、交流会、市民活動見本市の実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・若年層の町会加入や人材発掘が課題となっていることから、デジタル化等の情報発信の手法について情報共有するため、町会長や役員を対象とした意見交換会や研修会を実施しました。研修会では、ホームページを作成・運用している町会の事例発表を通して、ホームページ作成のノウハウを共有し、デジタル化への対応方法を共有した(R04意見交換会20人、研修会51人参加)。 ・コロナ禍でも活動を継続している各町内会の活動事例を紹介するため、スライドショーを作成し、イベントや会議での上映を通して、地域社会や地域活動への理解を深め、地域への愛着や関心を一層図られるよう、支援を行った。 ・町内会相談会の開催、町内会活動を紹介するリーフレットの配布など、町内会活動の周知や加入促進に向けた取り組みを行った。 ・市民活動支援ルーム運営の団体交流会(8月・2月)に実施した。 ・高津区まちづくり協議会のイベントの開催態度に開催の様子をたかつまねっどに記事としてアップした。 ・9月に高津区役所にてどんなもんじゃ祭(市民活動見本市)を実施した。 ・1月には歩いて知る地域史として久地円筒分水と二ヶ領用水を歩くウォーキングイベントを実施した。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標 イベント等における周知を図る広報チラシの配布や掲示物の設置等の実施回数	5				回
	2	活動指標 支援活動ルーム登録団体交流会	2				回
	3	活動指標 市民活動見本市参加申込団体数	30				団体
	4						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	・町内会・自治会は役員の高齢化、後継者不足、加入率の低下、活動参加率の低下等、様々な課題を抱えている中、災害時に町内会・自治会活動を通じた支援、つながりが果たす役割は非常に大きいことから、加入促進の必要性が求められている。 ・地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活性化すると、市民と区役所の協働によるまちづくり活動は重要である。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から) 具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 まちづくり協議会については、現在検討が行われている「これからのコミュニティ施策の基本的な考え方」に応じて機能等の見直し等を行う予定		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	住民意識の多様化、地域における交流機会の減少が課題となっている中、地域への関心を高めるとともに、地域コミュニティの活性化の推進が継続して求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来庁者が多い時期に、町内会・自治会の役割を紹介する冊子配布等を行い、町内会等未加入者に中心に普及啓発活動を効果的に実施できた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	社会情勢の変化を踏まえながら、より効果的な地域コミュニティの活性化につながるような事業の実施に向け、改善の可能性がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	災害時や社会情勢の変化に対応するためにも、地域コミュニティの活性化の必要性は高く、地域コミュニティの活性化を阻む要因や町内会・自治会活動の課題の解消につながるよう、さらに見直し、改善の上、本事業を継続する。

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	高津区まちづくり協議会の主目的である市民活動団体への中間支援を継続しながら、現在検討が行われている高津区ソーシャルデザインセンターの検討状況を踏まえながら、協議会の組織及び機能の整理・見直しを行うことを第12期(R4～5年度)協議会で検討している。※令和5年度をもって事業の廃止を行う。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	05	たかつ音楽・スポーツネットワーク事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		石丸・仁	64352	

事業の概要										
事業の概要			区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進するとともに、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。							
実施期間		事業開始年度 平成2年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
地域の課題と現状			希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図る取組として、区内にある多様な音楽・スポーツ資源を活用した事業を展開し、地域における音楽文化やスポーツへの参加機会の拡充を図り、魅力のあるまちづくりを推進することが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	5,088	4898						
		国庫支出金								
市債 その他特財 一般財源		5,088	4898							

計画 (Plan)	
事業の目的	区民や地域の関係団体との協働により、年齢や性別、障害の有無にかかわらず誰もが楽しむことができる心のバリアフリーに配慮した各種イベントを開催し、音楽・スポーツを通じた区民同士の出会いと交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	【スポーツ】ファミリースポーツ緑日、障害者スポーツ体験イベント、区内で活動するダンスチーム等を対象とした発表イベントを実施する。 【音楽】区内の音楽資源を活用し、区内の音楽活動を推進するために、花コンサート、区民音楽祭、こどもの音楽及びプラザ橋みんなどで楽しむ音楽事業を実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	各事業、新型コロナウイルス感染症対策として、事前申し込み制や人数制限等を行いながら実施した。数年ぶりに開催した事業もあったものの、それぞれ定員を超える応募状況だった。 【スポーツ】①ファミリースポーツ緑日(12月3日@久本小)②スポーツインクルージョン緑日(2月18日@高津SC)③ダンス!ダンス!たかつ2023(3月12日@高津市民館) 【音楽】花コンサート(計10回)、区民音楽祭(計1回・3Days開催・溝ノ口劇場、小黒恵子童謡記念館、川崎市民プラザ)、こどもの音楽及びプラザ橋みんなどで楽しむ音楽事業(計14回)を実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	スポーツイベント実施回数	目標	3				回
			実績	3				
	2 成果指標	スポーツイベント参加人数	目標	2000				人
			実績	3300				
3 活動指標	音楽イベント実施回数	目標	23				回	
		実績	23					
4 成果指標	音楽イベント参加人数	目標	2750				人	
		実績	2728					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域包括ケアシステムや障害者差別解消法の施行により、障害の有無に関わらず、誰もがお互いを認め合い交流できる場の提供が必要となっている。また、かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向けた取り組みとして音楽文化やスポーツに対する機運が高まっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 元 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	【スポーツ】かわさきパラムーブメントの取り組みとして、平成30年度から新たに障害者スポーツ体験イベントを実施した。令和元年度から、地域コミュニティの活性化を図ることを目的としたダンスイベント事業を開催した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	かわさきパラムーブメントに基づくレガシー形成に向け、音楽やダンス文化、スポーツに対する気運が高まる中で、心のバリアフリーを目指した事業への関心やニーズは高まっており継続的な実施が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	コロナ禍での実施となったが、多くの事業で定員を超える応募があり、成果は上がっているといえる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各委託先との協議を行い、役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 さらなる多世代交流、かわさきパラムーブメントの推進を目指し、区内の音楽、ダンス文化、スポーツに関するイベントを開催することで、地域の活性化と参加者同士の交流につながるよう機会を創出していく。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	10	たかつまちおこしネットワーク事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		高津区役所地域振興課		田鍋	64352	

事業の概要										
事業の概要		取組イベントを通じて、青少年の健全育成、親子のふれあいと健康増進並びに近隣相互の親睦を深めあうことによって、地域の活性化を図る。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		昭和41年度		—						
地域の課題と現状		近年マンションや新興住宅の建設が進み、地元住民と新規住民が接する場が少なくコミュニティの希薄化が課題となっている。また、高津区民生活に関わるニーズ調査(令和2年度実施)でも、「近隣の住民同士の関係が薄れている」と、まちの課題・問題点に挙げる区民が増加傾向にある。本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業であり、今後も継続して実施することで、地域の親睦を図るとともに地域コミュニティの形成を図る。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	3,125	1279						
		国庫支出金								
		市債								
その他特財										
一般財源	3,125	1279								

計画 (Plan)	
事業の目的	地域交流の活性化と高津区の魅力と地域特性を知る機会を提供すること。
今年度の事業の取組内容	<p>【親子運動会】 各地区とも実行委員会形式をとり、高津地区連合町内会、橋地区連合自治会を中心に関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。</p> <p>【ふるさと祭り】 ポスターコンクールの実施と応募作品を活用した広報を通して、移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントを実施する。</p> <p>【子どもフェア】 各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、運営委員会を主体に水辺での自然観察イベント、凧揚げ等のなつかしい遊びのイベントを実施する。</p> <p>【スプリングフェスタ】 国の登録有形文化財である円筒分水を通じて、地域の活性及びにぎわいの創出を目的としてイベントを実施する。</p>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 親子運動会: 開催に向けた検討会等を開催し、開催時間帯、規模、種目等について、具体的に検討を重ねたが新型コロナウイルスの影響により高津・橋の両地区とも中止となった。イベント自体は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、代替事業として、コロナ禍でも活動を継続している各町内会の活動事例を紹介するため、スライドショーを作成し、イベントや会議の上映を通じて、地域社会や地域活動への理解を深め、地域への愛着や関心を一層図られるよう、区として支援を行った。 ふるさと祭り: 新型コロナウイルスの影響により中止としたが、コロナ禍でも開催可能な代替イベントとして「謎解きイベント」を開催 2月15日(水)~3月15日(水)橋管内にて謎解きイベントを実施 参加者(回答)数:200名 子どもフェア: 11月13日(日)二子河川敷にて実施 参加者:1,500名 円筒分水スプリングフェスタ: 4年ぶりに開催準備を進めたが、雨により中止 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	親子運動会参加者	目標	7,000					人
			実績	中止					
	2 成果指標	ふるさと祭り来場者数(代替イベント)	目標	2,000					人
			実績	200					
3 成果指標	子どもフェア参加人数	目標	1,500					人	
		実績	1,000						
4 成果指標	円筒分水スプリングフェスタ参加者	目標	1,000					人	
		実績	中止						

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ここ数年開催できない状況が続き、都市化や地域コミュニティの希薄化が更に進む中、地域の自然との触れ合い、子供達の仲間作り、地域の活性化、地域社会への関心を高めることが求められる。								
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(6 年度から)								
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	委託団体や関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら費用対効果を十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。								
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない				a
	評価の理由	子供の数が減少し、地域コミュニティの希薄化から地域組織の減少が進み、これに伴う地域イベントも減少している中、子供達が地域の自然に触れ合う機会、地域社会への関心を高める機会を提供する意義は大きく、多くの住民が来場し子供達を中心とした地域交流の場とする事業に対するニーズは高いと考えている。							
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている				a
	評価の理由	今年度開催したイベントについては、安定した参加者を得ていることから、順調と考えている。							
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか				a. 可能性はない				b
	評価の理由	委託団体や関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら費用対効果を十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。							

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II ■住民ニーズに適切した事業展開を目指すと共に、さらに効率的・効果的な運営を視点に入れて継続して実施していく。 ■各地域の特色をより生かせる事業を行うことで「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。 ■地域団体等と協力し、事業の執行方法等を工夫・改善しながら、世代間交流地域の自然。社会環境の理解促進を図る機会を。引き続き提供する。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	10	30	高津区学習・文化ネットワーク事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		高津区役所生涯学習支援課		細谷	814-7603	

事業の概要

事業の概要		区の魅力発信と次世代への文化伝承を目的とした文化振興事業、外国人市民と日本人市民が違いを認め合い、ともに生きる社会をつくることを目的とした多文化共生推進事業、生涯学習を推進する施設間の連携強化を目的とした生涯学習支援事業を実施することにより、幅広い区民間交流や地域参加を促し、コミュニティの活性化を図る。							
実施期間		事業開始年度 令和元年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
地域の課題と現状		歴史的・文化的資源に恵まれ、多くの生涯学習施設をもつ高津区には、あらゆる世代が生活し、また外国人市民の人口も急速に増加しています。このような状況においては、区内の人材や資源を活用し、また外国人市民と日本人市民が互いに違いを認め合える事業を実施することにより、世代や出身を問わず幅広い区民が交流する機会を設ける必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	623	554	603					
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財	15							
	一般財源	608	554	603					

計画 (Plan)

事業の目的	区民が区の魅力を再確認し、国籍・民族・文化の違いが多様性や豊かさにつながることを実感できる推進する。
今年度の事業の取組内容	区の魅力と文化を広く区民に伝える文化振興事業、外国人市民が安心・安全かつ楽しく生活することを目的とした防災訓練、地域めぐり、多文化共生講演会、学習支援等を行う多文化共生推進事業、区内生涯学習施設による出前講座を実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	令和5年1月15日～2月18日全7回で文化振興事業「自分で作る！バス乗り継ぎルート講座」を開催 4月6日～令和5年3月11日の間で、多文化共生推進事業として多文化ワークショップ、地域めぐり、防災訓練、防犯講座、多文化子ども塾、外国人のための子育て広場(6事業)を実施 11月24日～令和5年3月8日の間で、生涯学習支援事業「出前講座」を4講座開催								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	講座の実施	目標	30				人
				実績	30				
	2	成果指標	体験活動事業の実施(参加者)	目標	30				人
				実績	30				
	3	成果指標	体験活動事業の実施(満足度)	目標	60				%
				実績	70				
	4	成果指標	講演会の実施(参加者)	目標	30				人
実績				30					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	外国人市民の人口は依然増加傾向にあるため、誰もが互いに認め合いながら共生するまちづくりを図る多文化共生推進事業の継続と更なる事業内容の充実が求められている。 区内施設による出前講座は毎回定員に達し、区民の関心は高いと感じられます。よって事業の継続が求められている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和4 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	文化振興事業について、実施形態を見直すことにより事業テーマの固定化の解消と経費削減を図る。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	外国人市民の人口は増加傾向にあり、区民の学習意欲も高まっているため、本事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多文化共生事業の毎回の参加者数は増加傾向にあり、出前講座は毎回定員に達しているため、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区内の文化活動に関する調査を行い、調査結果に基づいて文化振興事業のあり方を見直しました。次年度(令和5年度)からは、当該事業は教育事業と統合して教育費で継続実施することとし、経費削減を実現した。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	外国人市民の人口は依然増加傾向にあり、感染症予防対策の考え方の変化に伴い区民の学習意欲も高まっている。一方で、外国人市民のニーズや区民が求める学習内容や形態には変化がみられるため、事業の目的や方向性は維持するものの、それらの変化に対応すべく見直しや改善を行った上で継続する。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	40	区民祭開催経費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		まちづくり推進部総務課		白井	64112	

事業の概要										
事業の概要		地域コミュニティの活性化を図るため、地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援を行う。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業費					
		昭和49年度	—							
地域の課題と現状		高津区民祭は、地域有志や地縁団体により構成される実行委員会の主催で開催される祭りで、実行委員会事務局も地域有志が担っている。地域活性化や郷土愛・互助精神の醸成に寄与する事業として、引き続き区民祭の開催を支援する必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	200	0							
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		200	0							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援することで、地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	区民により構成される高津区民祭実行委員会に対し後援名義使用を承諾し、実行委員会に対し補助金を交付する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	4 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	令和4年度の開催については、区民祭実行委員会総会において検討しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また実施に際しては事前準備や調整に多大な時間を要することから日程の変更は難しく、また区民祭の特殊性から代替事業の実施は困難であることから、中止と判断された。 なお、令和5年度の開催に向けては、実行委員会委員と連携のうえ、検討を行った。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	区民祭の実施	目標	1						
			実績	0						
	2		目標							
			実績							
3		目標								
		実績								
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	区の人口が増加している中、新規住民の郷土意識醸成は継続した課題となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2～4年の3年間において開催されていないため、今後の開催方法等については、検討が必要。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) R3 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	より一層の区民による自主的な開催を目指し、令和2・3年度に予算額を削減している。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域包括ケアシステム構築や、防災など地域住民の互助連携の重要性が増している中、地域住民からの区民祭に対するニーズは、薄れていない。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	パレードの出店や参加団体数は、概ね例年同等を維持できており、各会場イベントの運営スタッフには新規住民の参加も得られている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性が有ります。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区役所主催事業ではなく、補助金額も主催者である実行委員会からの申請によるが、補助対象である広報事業について、協力や実施手法に関する助言等により効率を向上させる余地はある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	区民祭実行委員会の動向を注視しつつ、継続して支援を行う。